【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2006-23879(P2006-23879A)
【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-004
【出願番号】特願2004-200113(P2004-200113)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ　10/00　　(2006.01)
Ｇ０６Ｑ　50/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/60　　１７４
Ｇ０６Ｆ　17/60　　１５０

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月15日(2007.6.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
評価対象となる単位内または単位間の伝達情報に基づくログを記憶するログ記憶部と、
前記ログを分析して、評価対象の単位が他の単位に与える影響を評価するログ分析評価部と、
前記単位または単位構成員に対するアンケート処理に対する応答結果を分析し、評価対象単位が他の単位に与える影響を評価するアンケート分析評価部と、
前記ログ分析評価部において生成したログ評価結果と、前記アンケート分析評価部において生成したアンケート評価結果との比較に基づく統合処理により、伝達情報データに基づくログおよびアンケート結果に基づいて、評価対象単位が他の単位に与える影響の統合的評価を実行する統合処理部と、
を有することを特徴とする組織分析評価装置。
【請求項２】
前記統合処理部は、
ログ評価結果と、アンケート評価結果とを相互補完的に統合し、いずれか一方のみの評価結果にのみ含まれる評価結果データを含む統合的評価データを生成する処理を実行する構成であることを特徴とする請求項１に記載の組織分析評価装置。
【請求項３】
前記統合処理部は、
アンケート評価結果にのみ含まれる評価結果データとして、影響の種類を示すデータを含む統合的評価データを生成する処理を実行する構成であることを特徴とする請求項２に記載の組織分析評価装置。
【請求項４】
前記統合処理部は、
生成した評価データを通知する結果通知部を有し、
前記結果通知部は、予め定められた通知条件を満足する場合に通知処理を実行する構成であることを特徴とする請求項１に記載の組織分析評価装置。
【請求項５】

前記通知条件は、
ログに基づく影響評価結果と、アンケートに基づく影響評価結果との差分データに基づいて決定される条件を含むことを特徴とする請求項４に記載の組織分析評価装置。
【請求項６】
前記統合処理部は、
前記ログ評価結果と、前記アンケート評価結果との統合処理において、統合処理対象とするログ情報のログ収集時期と、アンケート情報のアンケート実施時期との対応付けの設定処理を実行する構成であり、該対応付け設定は、過去の集積ログに基づく影響評価結果とアンケートに基づく影響評価結果との時間推移データに基づいて自動設定する構成であることを特徴とする請求項１に記載の組織分析評価装置。
【請求項７】
前記過去の集積ログに基づく影響評価結果とアンケートに基づく影響評価結果との時間推移データに基づく対応付け設定処理は、時間推移データにおける相関に基づいて実行する構成であることを特徴とする請求項６に記載の組織分析評価装置。
【請求項８】
前記ログ分析評価部と、前記アンケート分析評価部の各々は、集積データに基づく単語解析により、影響評価を実行する構成であり、
前記統合処理部は、ログ分析評価部における単語解析による評価対象単位の影響評価結果と、アンケート分析評価部における単語解析による評価対象単位の影響評価結果とに基づいて、評価対象単位が他の単位に与える影響の統合的評価を実行する構成であることを特徴とする請求項１に記載の組織分析評価装置。
【請求項９】
前記組織分析評価装置は、さらに、
前記単位または単位構成員に対してアンケート処理を実行するアンケート調査部を有することを特徴とする請求項１に記載の組織分析評価装置。
【請求項１０】
前記ログ記憶部は、電子写真の用紙の計数値を含むログを記憶し、
前記ログ分析評価部は、電子写真の用紙の計数値を含むログを分析して、評価対象の単位が他の単位に与える影響を評価する構成であることを特徴とする請求項１に記載の組織分析評価装置。
【請求項１１】
前記単位は、個人構成員からなる組織、該組織の構成員としての個人のいずれかであることを特徴とする請求項１乃至１０いずれかに記載の組織分析評価装置。
【請求項１２】
組織分析評価処理を実行するコンピュータ・プログラムであり、
評価対象となる単位内または単位間の伝達情報に基づくログを記憶するログ記憶ステップと、
前記ログを分析して、評価対象の単位が他の単位に与える影響を評価するログ分析評価ステップと、
前記単位または単位構成員に対するアンケートの応答結果を分析し、評価対象単位が他の単位に与える影響を評価するアンケート分析評価ステップと、
前記ログ分析評価ステップにおいて生成したログ評価結果と、前記アンケート分析評価ステップにおいて生成したアンケート評価結果との比較に基づく統合処理により、伝達情報データに基づくログおよびアンケート結果に基づいて、評価対象単位が他の単位に与える影響の統合的評価を実行する統合処理ステップと、
を有することを特徴とするコンピュータ・プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
さらに、本発明の第２の側面は、
組織分析評価処理を実行するコンピュータ・プログラムであり、評価対象となる単位内または単位間の伝達情報に基づくログを記憶するログ記憶ステップと、前記ログを分析して、評価対象の単位が他の単位に与える影響を評価するログ分析評価ステップと、前記単位または単位構成員に対するアンケートの応答結果を分析し、評価対象単位が他の単位に与える影響を評価するアンケート分析評価ステップと、前記ログ分析評価ステップにおいて生成したログ評価結果と、前記アンケート分析評価ステップにおいて生成したアンケート評価結果との比較に基づく統合処理により、伝達情報データに基づくログおよびアンケート結果に基づいて、評価対象単位が他の単位に与える影響の統合的評価を実行する統合処理ステップと、を有することを特徴とするコンピュータ・プログラムにある。